(平成24年7月作成)

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1113	(H.24)No.	1113

事務事業名	エコツーリズム推進事業

担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	観光交流室	永岡　良仁	63-7648

新・継	事業期間	根拠法令等
継続	平成　21 年度～　平成　23 年度	

事業区分(複数選択可)		
	○	ソフト施策事業
		扶助費
		補助金交付金
		投資事業
		施設等維持管理
		内部管理事務
		特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政　　策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
総合計画	基本政策	5	都市産業の振興
総合計画	施　　策	2	観光
総合計画	小 施 策	1	魅力ある観光地づくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363801
一般会計		(中事業名)※予算書事業名	
款	商工費	ふるさと雇用再生特別基金事業	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	エコツーリズム推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要

国の「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用し、赤目四十八滝渓谷保勝会へのエコツアーガイドの雇用育成事業を委託する。
また、あわせて経年劣化により機能低下してきている観光施設の補修等による機能回復業務を委託することにより、観光客誘致につなげる。
委託先:赤目四十八滝渓谷保勝会

めざす効果(事業目的)

エコツーリズムを推進し、観光客誘致を目指す。
地域資産を掘り起こし、磨き上げ、着地型観光ツールとしての商品化を目指す。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

現在の実施手法(複数選択可)

	市が直接実施
○	業務委託(全部・一部)により実施
	指定管理
	補助金・交付金
	その他　(　　　)

		平成23年度(実績・決算見込)		平成24年度(計画・作成時予算額)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
主な事業の実績・計画		[事業内容(事業量)・事業費] ・委託料 エコツーリズム推進事業委託 エコツアーガイド2人5,580千円 間接経費　1,000千円 観光施設機能回復促進事業 作業員2人 5,094千円 間接経費　1,400千円		[事業内容(事業量)・事業費] ふるさと雇用再生特別基金事業の終了に伴い、委託先の自主事業として事業実施のため、市としての事業は終了。			
①直接事業費			13,074千円				
財源内訳(千円)	国庫支出金						
財源内訳(千円)	県支出金		13,074				
財源内訳(千円)	地方債						
財源内訳(千円)	その他( )						
財源内訳(千円)	一般財源	(0)	0	0	0	0	0
人工数	職員		0.15人				
人工数	臨時職員等		0.03人				
②概算人件費		(0千円)	1,146千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費		(0千円)	14,220千円	0千円	0千円	0千円	0千円

※概算人件費②は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
※平成23年度の(　)内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
※特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。
※平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

(平成24年7月作成)

5. 主な事業指標と成果

事業指標名			単位	H.20(現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	養成したエコツアーガイド数[延べ値]	人	-	-	-	-	-
	実績			-	2	2	2	-
活動指標	目標	観光施設の補修件数	件	-	-	-	-	-
	実績			-	-	27	15	-
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
エコツアーガイド養成講習会への参加等により、ガイドとしての能力向上につながり、観光客に豊富な観光資源をアピールすることともなったことから、今後の観光誘客に寄与できたと考える。	ふるさと雇用再生特別基金事業の終了に伴い、今後は委託先の自主事業として事業展開が図られる。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化(対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
旅行形態の変化や個人旅行の増加など、観光ニーズの変化に伴って、エコツーリズムへの関心が高まってきている。こうした観光ニーズに対応するため、継続してエコツアーガイドを育成していくことが求められている。	エコツアーガイドによる観光地でのエコツアーは好評を博している。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢①・②の場合)※(4)は①の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] ①できる ②検討余地がある ③できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] ①できる ②検討余地がある ③できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] ①できる ②検討余地がある ③できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ①ある ②ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] ①反映済み ②反映を予定 ③反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] ①できる ②検討余地がある ③できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] ①継続(事務改善) ②継続(現行) ③継続(拡大) ④休止・廃止検討 ⑤事業完了(完了予定含む)

※「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項
ふるさと雇用再生特別基金事業の終了に伴い、事業完了。